

東北関東大震災におきまして
被災された皆様にご心よりお見舞いとお悔やみを申し上げます。

このたびの巨大地震と津波が、被災された皆様に甚大な損失と耐えがたい苦悩や破局的な不安を与え続けていることを思いますと、私たちはその重大さにほとんど圧倒されてしまいそうになります。しかしながら被災された皆様、そしてその皆様に支援しておられる方たちが、この壊滅的に感じられる状況を生き抜こうと必死に懸命に努めておられますことをこころ深く分かち合いたいと思いますとともに、そのご努力が報われますことを信じております。

私たち日本精神分析学会は、心的外傷を含めて、喪失、破局の体験を生き抜こうとするこころの援助にかかわり続けてきました。長期におよぶ援助という視点を保持しながら、私たちが獲得してきた叡智を被災された皆様のこころの健康の支援にこれからさまざまな形で生かしていきたいと思っております。

皆様は、ひとりではありません。誰かがきつといてくれます。多くの方が思っています。私たちはこころのつながりを持っています。そして、私たちのこころは回復する力を確かに持っています。この未曾有の苦難のときを被災された皆様のこころに添い続け、ともに生きていきたいと私たち日本精神分析学会は強く思っております。

最後になりましたが、皆様に復興と平穏の光が一日も早く力強く射しますようこころより祈念いたします。

平成 23 年 3 月 18 日
日本精神分析学会
会長 松木邦裕